

令和6年度 主要事業評価シート

| | | | | | | | | | |
|--------|------------------|---|----------------------------|------------------|--|------------------|----|----------|--|
| ① 基本事項 | 計画コード | 22078 | 事業名 | 学校図書館支援事業 | | 評価分類 | A1 | | |
| | 事業手法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | |
| | 施策体系 | 施策の大綱 | 04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実 | | | 予 算 科 目 | 会計 | 01:一般会計 | |
| | | 基本施策 | 01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実 | | | | 款 | 10:教育費 | |
| | | 施策の方向 | 03:希望をもって新しい時代に活躍できる子どもの育成 | | | | 項 | 08:教育研究費 | |
| | | 重点プロジェクト | 04:「未来へのピラ」プロジェクト | | | | 目 | 01:教育研究費 | |
| 事業期間 | H 21 年度 ~ R - 年度 | | 主な根拠法令等 | 子どもの読書活動の推進による法律 | | | | | |
| 担当部署 | | 教育委員会事務局 | | | | | | | |
| 部 | | 教育委員会事務局 | | | | | | | |
| 課 | | 学校教育課 教育支援G | | | | | | | |

| | | | | |
|------------|--|-----------------------------|--|--|
| ② 事業概要 (P) | 事業の必要性(経緯・背景等) | 事業の対象(誰に、何に対して) | 事業の目的(どのような状態にしたいのか) | 事業の内容(どのような取組を行うのか) |
| | 子どもたちの読書離れが年々進む中、学習指導要領において、学校図書館機能の充実と計画的な活用が求められており、児童生徒が自主的・自発的に本に親しむことができるよう、学校司書等と連携して読書活動を推進する必要がある。 | 市内幼稚園、小学校及び中学校の園児・児童・生徒・保護者 | 学校図書館活動の充実と蔵書の適切な更新により、児童生徒の読書習慣の確立と、読書の質の向上が図られる。また、家庭における読書習慣の定着が図られる。 | 学校図書館情報システムの運用と管理を行うとともに、学校司書の配置や学校図書館活用アドバイザーの派遣を行う。また、ファミリー読書リレー、読書チャレンジを実施する。 |

| 年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | | |
|-----------------|----------------------|---|----------|---|----------|---|----------|--|----------|----------|
| ③ 事業の実施状況 (P・D) | 事業計画 | ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○読書リレー・読書チャレンジの実施 | | ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○読書リレー・読書チャレンジの実施 | | ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○読書リレー・読書チャレンジの実施 | | ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○読書リレー・読書チャレンジの実施 | | |
| | 活動実績 (計画通り実施できたか) | 学校図書館情報システムを適切に運用した。学校司書6名を14校全ての小中学校に配置するとともに、図書館活用アドバイザーを配置し、各校に月1,2回程度、14校に計168日派遣した。読書リレーを幼稚園4園と小学校低学年を対象に、2学期に10週間程度実施したほか、読書チャレンジを市内全保育所・幼稚園(年長児)、全小学校(全学年)で実施した。 | | 学校図書館情報システムを適切に運用した。学校司書を6名を全小中学校に配置するとともに、学校図書館活用アドバイザーを配置し、各校に月1, 2回程度、14校に計168日派遣した。読書リレーを幼稚園4園と小学校低学年を対象に、2学期に10週間程度実施したほか、読書チャレンジを市内全保育所・幼稚園(年長児)、全小学校(全学年)で実施した。市立図書館との連携を進め、相互貸借事業「ほんくる。」も運用を開始した。 | | 学校図書館情報システムを適切に運用した。学校司書6名を全小中学校に配置し、更に学校図書館活用アドバイザーを各校に月1~2回程度、14校に計168日派遣した。読書リレーを幼稚園4園と小学校低学年で2学期に10週間程度実施し、読書チャレンジを市内全保育所・幼稚園(年長児)、全小学校(全学年)で実施した。市立図書館との連携を進め、相互貸借事業「ほんくる。」を継続し、「かめやま電子図書館」の運用を開始した。 | | | | |
| 計画額 | 予 算 額 | 事業費 | 14,600千円 | 14,500千円 | 14,000千円 | 14,629千円 | 14,000千円 | 13,540千円 | 10,000千円 | |
| | | 国・県支出金 | | 0千円 | | 849千円 | | | | |
| | | 地方債 | | 0千円 | | | | | | |
| | | その他 | | 0千円 | | | | | | |
| | | 一般財源 | 14,600千円 | 14,500千円 | 14,000千円 | 13,780千円 | 14,000千円 | 13,540千円 | 10,000千円 | |
| 決算額 | 決 算 額 | 事業費 | | 13,530千円 | | 14,182千円 | | 12,977千円 | | |
| | | 国・県支出金 | | 0千円 | | 849千円 | | 0千円 | | |
| | | 地方債 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| | | その他 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| | | 一般財源 | | 13,530千円 | | 13,333千円 | | 12,977千円 | | |
| ①期間内計画額(R4-7) | | 52,600千円 | | ②期間外計画額(R8-) | | - | | ①+②総計画額 | | 52,600千円 |

(令和6年度予算額の内訳)

| | |
|-----------|----------|
| 前年度からの繰越額 | 0千円 |
| 当年度の最終予算額 | 13,540千円 |
| 次年度への繰越額 | 0千円 |

| 指標名 | 説明等 | 種別 | 単位 | 区分 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------------------------|---|----|----|-----|---------------|---------------------|-------------------|---------------|
| ④ 学校図書館を活用した授業を、全学年が月1回以上実施した学校数 | | 活動 | 校 | 計画値 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| | | | | 実績値 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 児童生徒読書数 | 児童生徒1か月の一人当たりの図書貸出冊数 | 成果 | 冊 | 計画値 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| | | | | 実績値 | 8 | 8 | 8 | |
| 授業時間以外での読書状況 | 平日授業時間以外での読書時間「10分以上」と回答したの子どもの割合(全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙) | 成果 | % | 計画値 | 小学校 60/中学校 46 | 小学校 61/中学校 47 | 小学校 62/中学校 48 | 小学校 63/中学校 49 |
| | | | | 実績値 | 小学校 65/中学校 42 | 小学校 50.6 / 中学校 41.8 | 小学校 70.4/中学校 52.4 | |

| 判定 | 事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか) |
|------------|---|
| ⑤ 成果 (C) B | 学校司書や図書館アドバイザーの配置により、読書指導の充実や図書館活用指導に取り組み、児童生徒の読書習慣の確立と読書の質の向上につながった。また、読書リレーや読書チャレンジの取組を通じて、家庭での読書習慣の定着につながった。 |
| まずまず成果を得た | |

| 事業の対象 | 事業の目的 |
|-----------------------------|--|
| 市内幼稚園、小学校及び中学校の園児・児童・生徒・保護者 | 学校図書館活動の充実と蔵書の適切な更新により、児童生徒の読書習慣の確立と、読書の質の向上が図られる。また、家庭における読書習慣の定着が図られる。 |

(再掲)

| 事業の達成状況等を踏まえた課題事項 |
|--|
| ⑥ 課題 (C) 学校図書館の蔵書数は基準を満たし、貸出冊数等は全国平均を上回っているものの、児童生徒の読書数には学校差や個人差がある。そのため、各校の図書担当者が学校司書や学校図書館活用アドバイザーと連携し、児童生徒や家庭に多様な図書館活用方法や貸出方法を周知・啓発していく必要がある。 |

| 方向性 | |
|---|--|
| ⑦ 事業の展開 (A) 継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する | |
| 改善・見直し内容 | |
| 令和7年度で対応する(した)もの 学校図書館アドバイザーの派遣を継続し、図書館利用促進のための読書指導や調べ方学習指導など、教職員向け研修会の内容等を充実させる。また、各校の図書担当者会を開催し、図書館活用指導の推進を図る。さらに、読書の幅を広げるため、相互貸借や電子図書館の利用を促進する。 | 令和8年度以降で対応するもの 令和7年度の実施状況を踏まえ、児童生徒の読書習慣の確立や読書の質の向上に向け、必要に応じて改善・見直しを進める。 |

| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------|----------|----------|----------|-------|
| ⑧ 履歴 成果判定 | A | B | B | |
| 事業展開 | 継続(現状維持) | 継続(現状維持) | 継続(現状維持) | |

| | |
|-------|------------------------------|
| 1次評価者 | 教育委員会事務局 学校教育課 教育支援GL 北川 恵美子 |
| 最終評価者 | 教育委員会事務局 学校教育課長 武居 政敏 |